



平成28年度も私たちは 幸畑団地を住みよくするために頑張りました！

第1回幸畑ヒルズ・観桜会を開催 (平成28年4月29日 場所/おおすみ町会)



幸畑団地には素晴らしい桜の木があるので、地域住民みんなで桜を楽しもう！と初めて開催しました。今年度は、幸畑団地のおおすみ町会にある「おおすみ公園」の桜の木の下で開催を企画しましたが、当日はあいにくの雨模様のため、集会場の中での観桜会となってしまいました。それでも、60名以上の来場者で大変盛り上がりましたので、来年度も地域住民が楽しめる観桜会の開催を企画したいと思います。

地域住民による「^{ゆめあか}夢灯り^{とうろう}灯籠」制作会 (通年 場所/地域住民のお宅)

岩手県宮古市田老地区で親しまれている「夢灯り灯籠」を幸畑団地地区のイベントでも飾りたいと、地区住民の方が集まって、思い思いの形を模った灯籠を制作しました。材料の「牛乳パック」に下絵描いてカッターで加工、そして、カラースプレーでの色付け、木工ボンドで組み付けなど、様々な工程を経て作られた約100個の灯籠は、地域の夏祭りや冬まつりで色鮮やかに飾られ、幸畑ヒルズの風物詩になりつつあります。



岩手県やおいらせ町の自治会の方々が来訪 (平成28年7月)



幸畑団地地区まちづくり協議会の取り組み発表やそれぞれの地域課題などを話し合う意見交換会を開催しました。今年度は、岩手県遠野市自治会の方々とおいらせ町古間木山連合町会の方々と、遠方から遥々この幸畑団地地区へ来訪されました。



私たちが取り組んでいるまちづくり活動については、どちらの自治会の方々もとても興味深く聞いておられ、とても参考になったと感心された方もおられました。今後も、様々な地域の方との相互交流を継続していきたいと思っております。

幸畑ヒルズねぶた制作ワークショップ (平成28年5月～8月 場所/青森大学構内)

夏に開催する「幸畑団地サマーフェスティバル」で運行する「幸畑ヒルズねぶた」をみんなで作ろうと、幸畑団地の住民だけでなく青森市内各地から制作メンバーが集まって、1からねぶたを制作しました。ねぶたを作るのは初めてというメンバーがほとんどでしたが、制作者の木下さんの指導のもと、楽しみながらねぶたを作り上げることができました。



青森大学との合同防災訓練を開催 (平成28年7月24日 場所/青森大学構内)



災害は突然やってきます。それに備えて、地域住民と大学とで合同防災訓練を開催しました。火災に備えた消火器訓練や徒手搬送・毛布担架搬送法訓練、AED/応急処置訓練、ブルーシートを使用する簡易テントの作り方など、青森県防災士会の方のご指導のもと、参加者みんなで学びました。とても貴重な実技訓練ばかりだったので、参加者からは本当にためになったという感想が多く聞かれました。

幸畑ヒルズねぶた祭りを開催 (平成28年8月21日 場所/幸畑団地地区)



幸畑団地内外の住民と青森大学、企業などがスクラムを組んで、幸畑ヒルズを盛り上げるために「幸畑ヒルズねぶた祭り」を今年度も開催しました。「青森ねぶた祭り」は、約3キロのコースを運行するのに対し、今年度の「幸畑ヒルズねぶた」は全町会を運行するという目標を掲げたために、約4.5キロもの長いコースを練り歩くこととなりました。



途中、坂道や道の悪い場所も練り歩くので体力勝負となりましたが、2回の休憩ポイントを設けて水などの水分補給をしたり、スイカやフルーツなどの差し入れもあつたりで、約250名の跳人や曳手、お囃子メンバーのほとんどが完歩しました。

1からのねぶた制作に始まり、いろんな方々の協力で開催できたことで、幸畑ヒルズに集う「マンパワー（人のチカラ）」の凄さをあらためて実感しました。

幸畑ヒルズ文化祭を開催

(平成 28 年 10 月 1 日～2 日 場所/青森大学)



毎年恒例の青森大学文化祭に合わせて、幸畑地区の様々な文化や芸術作品を展示する「幸畑ヒルズ文化祭」を開催しました。

毎年、地域の方々の様々な作品が出展されて、幸畑団地に住んでいる方のセンスの高さが伺えます。

今年は、イラストやジオラマ、鉛筆画などプロ顔負けの素晴らしい作品が集まり、会場を訪れた方々から同じ地域に住んでいる者として誇りに思うなどの声が聞かれました。



幸畑ヒルズ・雪室実験会を開催

(平成 28 年 12 月～平成 29 年 3 月)

幸畑団地地区は青森市内でも丘陵地帯のため、積もった雪が解けにくい場所です。その利点を逆手にとって、果物や野菜などを雪の中で低温貯蔵することで味が美味しくなることで有名な「雪室（ゆきむろ）」をやってみようという実証実験を行っています。今期は、地域住民の方々がリンゴやお酒などを持ち込んで、ブルーシートと雪で覆って「雪室」完成。雪の利活用として多方面から注目を集めています。



幸畑ヒルズ除雪隊による通勤・通学路歩道除雪

(冬季間早朝)



冬の期間、車道の除排雪は市の委託業者が行いますが、通勤、通学路の歩道除雪は殆ど行う業者がいません。特に、バス停前や子供たちが歩く通学路などは、周辺住民の意識で行っているのが現状です。私たちは、公園や幸畑中央花壇前など、住宅地以外の場所で、特に人通りが多く歩道除雪が必要な場所をメインに、通勤、通学時間前の早朝 4 時からボランティアで除雪を行っています。雪の日でもとても歩きやすい！と好評を得ています。

幸畑ヒルズスノーフェスティバル 2017 (平成 29 年 2 月 11 日 場所/青森大学構内)

「雪が多く住みにくい場所」というあまりうれしくないイメージの幸畑団地において、むしろその雪を使って楽しんでしまおう！と 3 年前から「幸畑ヒルズスノーフェスティバル」を開催しています。今年も昨年に引き続き青森大学の中庭広場をお借りして、「スノーチューブ滑り台」や雪道のコースで遊ぶおもちゃ「ワイルドミニ四駆コース」、「棒パンコーナー」などに多くの方が訪れて楽しみました。

また、屋内会場として 6 号館「集いのスペース」では、ホットドリンクの振る舞いや様々なクラフターが集まっている様々な制作体験ができる「おもしろワークショップ」も開催しました。夜は、地域住民制作による「夢灯り灯籠」や「雪灯籠」に火を灯しとても幻想的な雰囲気になりました。

天候にも恵まれ、テレビ局や新聞社の取材などで広くイベントをアピールできたこともあり、300 名以上の来場者となりました。



あしがき

私たち「幸畑団地地区まちづくり協議会」は、今年度も様々な「魅力あるまちづくり事業」を行ってまいりました。すべては幸畑団地地区を住みやすくしたい、幸畑団地地区でもいろんな発見や体験をして、学びを得ることをしたいという住民や大学、企業などの思いと、地区住民だけでなく青森市内一円から集まった人々によって生まれた「マンパワー」の賜物（たまもの）であると感じます。

長く住んでいる人だからわかる土地勘だけでなく、他の地域の活動など新しいアイデアや他の地域から応援に来てくれる様々な方の知識や経験を活かして、今後も「幸畑ヒルズの・幸畑ヒルズによる・幸畑ヒルズのための地域づくり活動」を行っていきたいと思います。



幸畑団地地区まちづくり協議会
イメージキャラクター
「ハッピー・ベーン」

幸畑団地地区まちづくり協議会

事務局 青森市幸畑三丁目 12-1 張山方

ホームページ <http://www.koubata.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/koubata/>